

# ソーラーパネルリサイクルプラットフォーム による環境DXの構築

将来、ソーラーパネルの廃棄の問題は、現在の80倍以上に増えるといわれている。この問題を関係企業と協力し、ソーラーパネル排出業者からの解体・廃棄の依頼を一元管理する。そして不法投棄をなくすべく、全ての部材をリサイクルまたは適正な最終処分を適正価格で受けられるプラットフォームを構築する。これをもとに、国内の再生可能エネルギーの推進と新たなビジネスネットワークを目指し、環境DX(デジタルトランスフォーメーション)として確立する。

# ソーラーパネルリサイクルプラットフォームの概要

## 1. 背景

現在さまざまな場面で環境対策に関する課題が数多く取り上げられている。そのなかで世界的に見ても、最大の課題は地球温暖化、二酸化炭素削減である。その対策の代表が、ソーラービジネス等の自然エネルギーの活用である。日本国内でも、2009年には余剰電力買取制度(売電ビジネス)が始まり、メリットのある投資としても注目されるようになった。さらに2012年7月1日施行の「FIT法」と呼ばれる固定価格買取制度により、太陽光発電の普及が進んだ。FIT法は再生可能エネルギーの普及や価格低減を目的としており、ソーラービジネスは一気に加速し、現在に至る市場へと成長した。

しかし、2018年の北海道胆振地震で、北海道全域にわたってブラックアウトという停電が発生し、1か月近くその影響が続いた地域もあった。これにより、電力の主流である火力・原子力等の発電が必要不可欠であり、ソーラー発電に依存するデメリットが浮き彫りとなった。

電力の買い取り価格を高く設定する目的は、システムの普及を狙うためであり、普及が広がってきた近年においては、高い単価にする必要性はなくなってきている。そのため、買い取り価格の規定額も年々下落傾向にある。買い取り価格がさらに低下し、太陽光発電が縮小傾向になることへの不安が一時言われていた。しかし、ロシアのウクライナ侵攻など化石燃料高騰により電気料金をはじめとする物価上昇が止まらない今日、ソーラー発電を中心とする再生可能エネルギーへの転換及びソーラービジネスの拡大は急務である。

## 2. 目的

ソーラーパネルの寿命は、初期のころには10～20年、現在でも20～30年後には使用不能と言われ、太陽光発電増加傾向と合わせ、環境省の試算では、10年後にはソーラーパネルの廃棄は現在の80倍になり、年間800,000トンの廃棄量に達し(環境省ホームページ「太陽光発電設備のリサイクル等の推進に向けたガイドライン」参照)、ピーク時には140万トンを超えと言われている。

将来、このソーラーパネルの大量廃棄は大きな社会問題に発展することは必至で、ソーラービジネス継続が困難な会社は、ソーラーパネル自体の放棄・放置が予想される。また、事業を継続しようとする企業にとって、**安価で確実にリサイクルそして廃棄されることは企業コンプライアンス継続に必要不可欠**な問題であり、太陽光発電事業継続における安心と安全の提供という点からも、今回提案する「ソーラーパネルリサイクルプラットフォーム」の必要性は高い。

### 3. 必要性と意義

「ソーラーパネルリサイクルプラットフォーム」運用に関しての社会及び企業のメリット

#### 1) 環境面

- ・ソーラーパネルの確実な解体・分別・処理による、確実なリサイクルの実現
- ・ " " "、最終廃棄物の適正処理と追跡データの保管
- ・ " " "、処理物の再資源化
- ・地域環境の保全と災害へのリスクマネジメント

#### 2) 社会面

- ・ソーラーパネルの放棄・放置の未然防止
- ・不適切解体業者及び処理業者による不法投棄の防止
- ・ソーラー事業終了に伴う土地の有効利用促進

#### 3) 経済面

- ・処理依頼企業(排出事業者)の経済的負担の軽減
- ・最終処理過程までの透明化
- ・プラットフォーム参加企業の情報共有による効率的な処理による生産性の向上
- ・ " " "の効率的な仕事の受注

#### 4) 未来への新たなビジネスプラットフォーム

- ・再生可能エネルギーの普及推進
- ・廃棄から再利用、そして再生可能のネクストステージ
- ・情報・技術・人材・マーケティング等の共有による経営の効率化
- ・新たな環境DX構築による、環境情報ネットワークの拡大
- ・業界秩序の維持とメンバー企業の経営の安定化
- ・ソーラー電力の集積事業
- ・ソーラー電力の第2次売電事業
- ・ソーラー事業及び設備のトレーディング

# ソーラーパネルリサイクルプラットフォームの構成

ソーラー売電企業

ソーラーパネル業者

各廃材の処理業者

金融機関

工事・解体業者

鉄・銅等金属処理業者

電気設備業者

・リサイクル金属の買取

ソーラーパネルリサイクルシステム

証券会社・相場取引業者

最終処分場所有業者

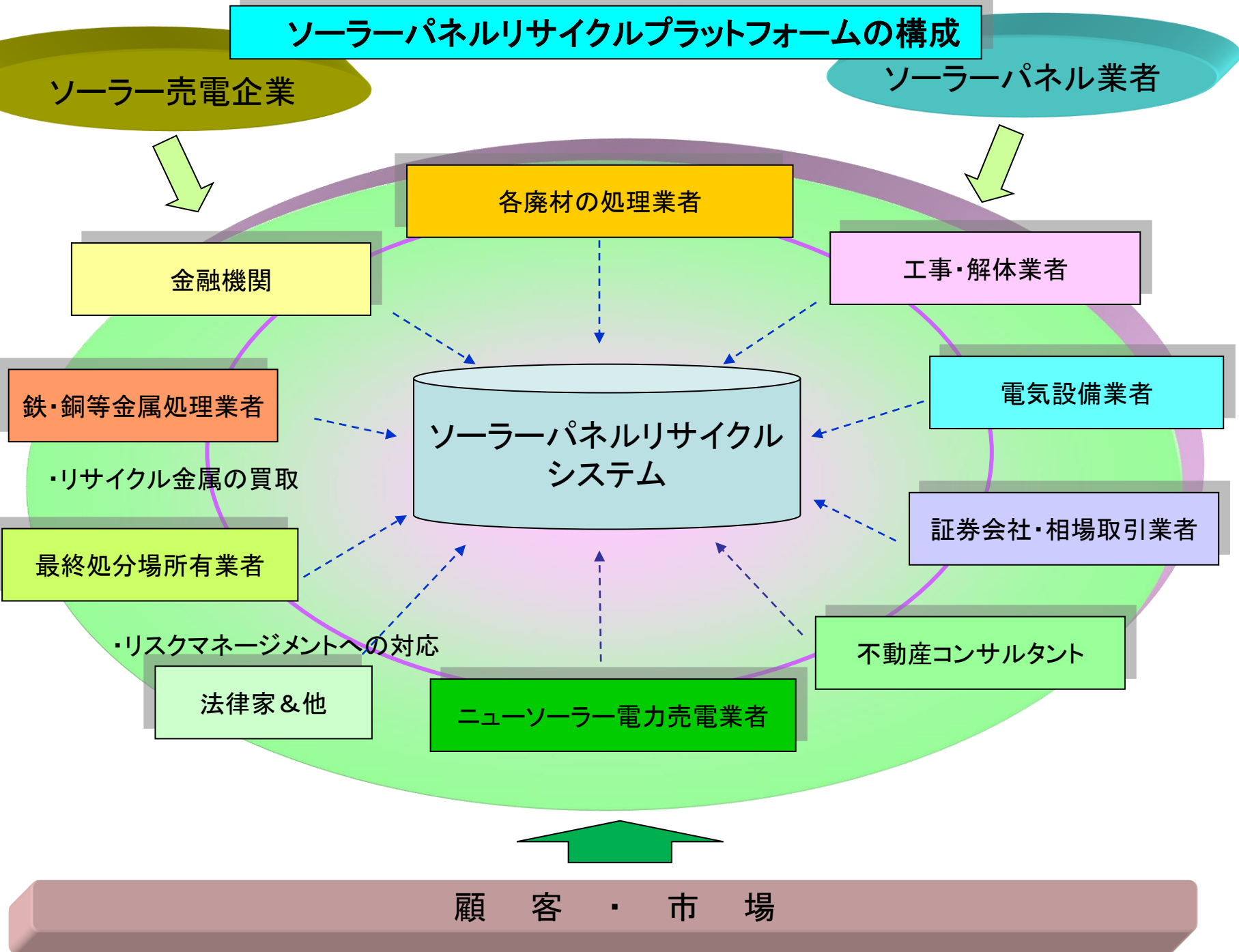
・リスクマネージメントへの対応

不動産コンサルタント

法律家&他

ニューソーラー電力売電業者

顧客・市場



# ソーラーパネルリサイクルプラットフォーム (SRP)が産み出す環境DX事業とは？

DX

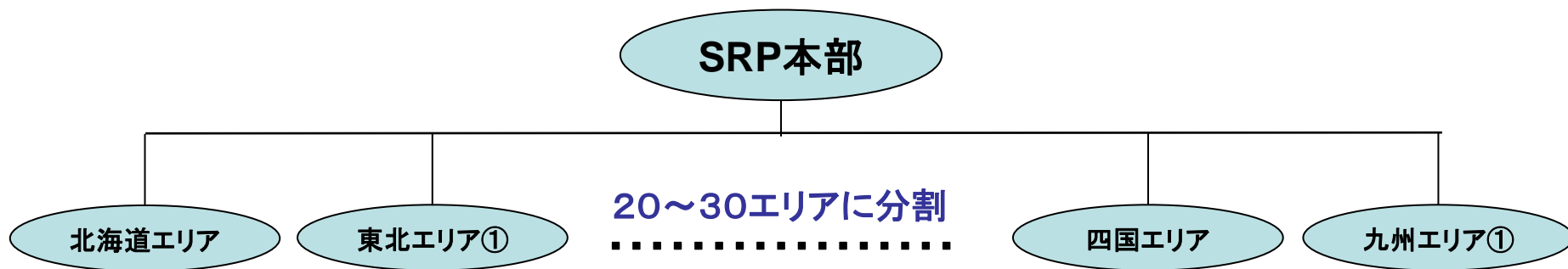
Digital Transformation

- ①SRPを浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革すること
- ②既存の価値観や枠組みを覆すような革新的なイノベーションをもたらすもの

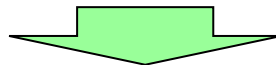
# ソーラーパネルリサイクルプラットフォーム 全国ネットワークの構築



ソーラーパネルリサイクルプラットフォームの情報処理システムの全国展開



各エリアで、同様の各業種をまとめる企業又は法人と協力し、エリアを任せる



全国ネットワークの環境DXを構築

# SRPが目指す未来に向けての環境DX

ソーラーパネルリサイクルプラットフォーム(SRP)は、環境問題、再生可能エネルギー変換へ大きく貢献できるシステムです。

そして、電力会社、エネルギー会社、商社、金融機関、投資会社、リサイクル企業をはじめ、ソーラーパネル、再生可能エネルギーに関わる全ての企業と連携でき、ともに発展してゆくシステムであり、コラボレーションできるシステムです。

環境とエネルギーに革新的なイノベーション

環境DX(デジタルトランスフォーメーション)の構築

